



▲3月定例村議会で、新年度の重点施策の説明を述べる金子村長

標面積の配分を受け、このうち集団化二二八ヘクター七〇％と目標を定めて個人配分を完了しました。

十数年来にわたり継続的重点施策として取り組んできた結果、先月末における道路台帳登録の村道総延長は、一三・七・三キロ...

なりません。最近、青少年の非行や校内暴力、家庭内暴力などの増大が大きな社会問題になっています。

支所兼公民館の機能を持ち、地域住民各層の利便に供することのできる施設に――とかねがね申してきたのですが、場所、規模などについて地域のみならずの十分なコンセンサスを果たすまで計画し、できるだけ早い事業着手を目指して行きたいと考えております。

制約を貫き、二十億七千万円の当初予算を策定しました。また、独立採算の原則上において健全な運営管理をしていかなければならない、各特別会計につきましても、一般会計と全く同様の考え方で当初予算を編成しました。

次に新規特別事業では、第一に浄水場整備です。現吉田浄水場は過去十年余りにわたり十分その役割を果たしてきましたが、最近にいたり老朽化が進み、増大する水需要に耐えきれず、もはや限界に達したと判断されるに至ったことから...

「地方財政が引き続き著しい収支不均衡の状態にあることに鑑み、概ね国の予算編成と同一の基調に立つて、経費全般について徹底した節減合理化を行うという抑制的基調の下で、節度ある財政運営にあたる」というのが、地方財政計画の基本的な算定方針です。

上しましたが、今後検討方法を具体化し、慢性化した運営費補助を排し、内容を十分精査したうえで事業費補助・有期限補助に転換して行きます。

21世紀にむけて 住民のニーズに応えた 村づくりを



* 本年度の重点施策 *

- ①新庁舎（役場・保健センター・消防）の完成
- ②水田利用再編対策の推進
- ③農村総合整備モデル事業第3年次工事の施工
- ④道路整備の推進
- ⑤学校・家庭・社会教育およびスポーツの振興
- ⑥青少年の健全育成
- ⑦交通安全対策の徹底
- ⑧犯罪のない明るい社会づくりの推進
- ⑨浄水場整備事業
- ⑩間瀬地区の集会施設等整備事業

昭和58年度は、どのようなことを重点に村政が進められるでしょうか。その方向を審議する定例村議会（3月10日～18日）で、金子村長が施政方針を述べました。

特に、歳出面では①人件費については、退職者の補充をしない、各種の報酬・費用弁償・手当などは原則として全て据置きにする――などして総額で前年比五％減と算定しました。

昭和五十七年度は関係者の御理解と御協力により二一・五ヘクターの目標に対して、達成率一〇四％の二一九・九ヘクター、集団転作率二〇・七ヘクター五四・八％という実績をあげることができました。